

夏休みが終わり、子供たちの元気な声が校舎中に戻ってきました。

朝、子供たちを正門で迎えましたが、ひと夏を超えてさらに心も体も頼もしくなったように感じました。

始業式で、私から以下のことについて話しました。

夏休み中、大きな事故なく全員元気に登校してきてくれたことがとてもうれしいです。それだけで夏休みの過ごし方は100点です。

夏休み中、校長先生はどう過ごしていたかという、校長先生は、お仕事をしながら休みの日は一日テレビで高校野球を見ていました。仙台育英高校が東北初の優勝となりました。でも優勝できる学校は全国のもたった1校です。残念ながらそれ以外の学校は負けてしまうことになります。高校野球を見てみると、試合の結果全力を出したにもかかわらず負けてしまった選手の人たちが涙を流す場面を必ず見るようになります。校長先生は、そんな姿を見てるととてもかわいそうに思っていたのですが、あの涙が悲しみの涙だけではないのではないかと気づきました。練習の時から仲間と協力しながら一生懸命頑張ってきたこと、全力を出してもなお勝つことができない素晴らしい選手と戦えたこと、応援してくれた人たちへの感謝、などなど様々な気持ち、試合が終わってサイレンが鳴った時に選手の心から一気に噴き出してくるのではないかと思います。こうした経験は少ないながらも校長先生もあります。いつでも思い出すことができ、その時の熱い気持ちが今でもよみがえってきます。

校長先生は、みなさんにもこうした経験をしてもらいたいと思っています。2学期はまず運動会がありますね。それから部活動に入っている人は大会や発表会などがあります。また、持久走記録会など様々なイベントも予定しています。得意不得意があるかもしれませんが、自分なりに全力で取り組んでみてください。全力で取り組んだ人でないと味わうことができない満足感や達成感を感じられると思います。2学期は新型コロナの感染予防に努めつつも、みなさんにはこうした思いをたくさん味わってほしいと思っています。

その後、今月のおすすめの本を紹介しました。

また、転入してきた児童4名を紹介しました。

2学期は、1年の中で最も長い学期になります。その分最も充実した学期にしていきたいと考えています。保護者の方、地域の方の御支援・御協力を賜りますよう、お願いいたします。